

# HSP 136 電源キャニスタの 交換

# 目次

.....	3
電源キャニスタの交換: NetBackup 5330 プライマリストレージシェルフまたは拡張ストレージシェルフ	3
目的	3
影響のあるモデル	3
オンサイトのポリシーと手順	5
電気の安全性	5
ハードウェア部品の交換手順	6

Veritas

# 電源キャニスタの交換: NetBackup 5330 プライマリストレージシェルフまたは拡張ストレージシェルフ

ドキュメント番号: 136

バージョン: 3.0 (15/03/10)

## 目的

このドキュメントでは、NetBackup 5330 プライマリストレージシェルフまたは拡張ストレージシェルフ内の電源キャニスタの交換手順について説明します。

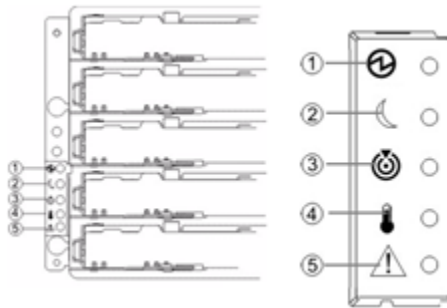
## 影響のあるモデル

### Veritas NetBackup 5330 アプライアンスストレージシェルフ

NetBackup 5330 アプライアンスのプライマリストレージシェルフと拡張ストレージシェルフにはそれぞれ、60 台の SAS ハードディスクドライブが搭載されています。プライマリストレージシェルフと拡張ストレージシェルフの前面には、5 つのドロワーがあり、一番上から順に 1 から 5 までの番号が付いています。各ドロワーには 12 のディスクドライブが含まれ、左上から順に 1 から 12 までの番号が付いています。次の図に示すとおり、前面パネルは物理的、機能的に両方のシステムで同じです。



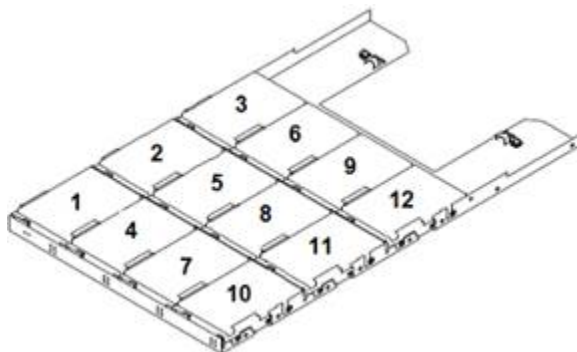
次の図は、前面パネルの LED を示しています。この表は、コンポーネントを示しています。



次の表は、LED ステータスの意味を示しています。

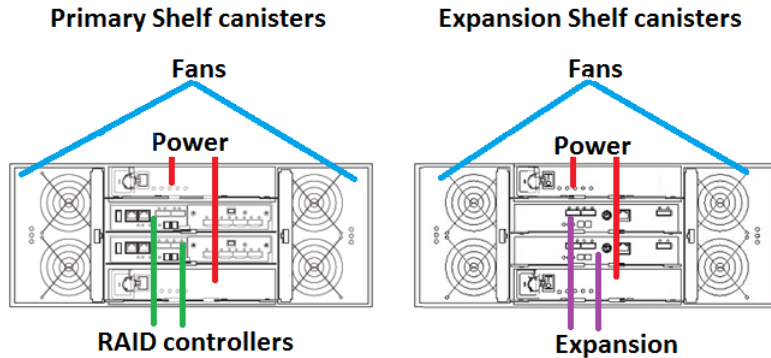
Number	Definition	Color
1	Power LED	Green
2	Standby LED	Green
3	Locate LED	White
4	Over-temperature LED	Amber
5	Service Action Required LED	Amber

ストレージシェルフの各ドロワーには 12 のディスク用スロットがあります。ディスクには、次の図のように番号が付いています。



両方のディスクシステムの背面パネルには、3種類のキャニスタが備わっています。

- RAID キャニスタまたは拡張キャニスタ
- AC 電源キャニスタ (AC 220 V)
- ファンキャニスタ



各ストレージシステムには、背面パネルの右側と左側に2つのファンキャニスタが付いています。

ファイバーチャネル (FC) ケーブルがプライマリシェルフとアプライアンスを接続します。

4つの SAS ケーブルが拡張シェルフとプライマリシェルフを接続します。拡張シェルフはアプライアンスに直接接続されません。

## オンサイトのポリシーと手順

### 電気の安全性

人体から出る静電気で基板上の静電気に弱い部品が損傷する可能性があります。装置の設置やメンテナンスを行うときは、怪我やデバイスの損傷を防ぐために、適切な静電気安全注意事項を遵守してください。

デバイスの静電気に弱い部分を取り扱う際には、静電放電 (ESD) 防護手段を講じる必要があります。この防護手段には、人身傷害やデバイスの損傷を避けるために身に付ける ESD を防止する手袋、リストストラップ、衣服などが含まれます。

デバイスを損傷から守るには、操作中に次の点に注意してください。

- デバイスを素手で触らないでください。人体からの静電放電によって基板上の静電気に弱い部品が損傷する可能性があります。
- サーバーや内部コンポーネントを取り扱う際には、ESD を防止するリストストラップや手袋、スーツを身に付けてください。

# ハードウェア部品の交換手順

## 電源キャニスタの取り外しと交換

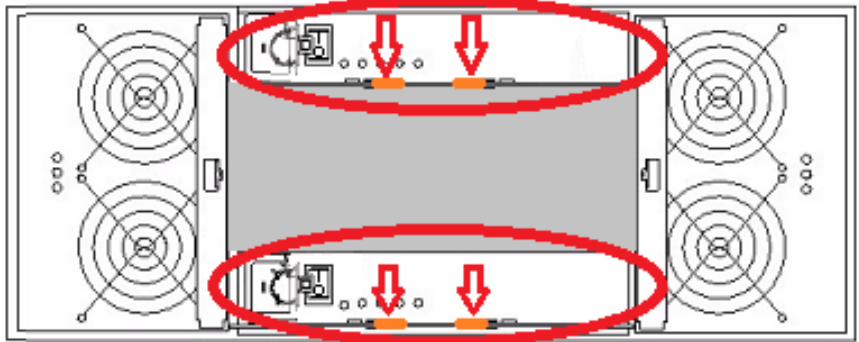
NetBackup 5330 プライマリシェルフまたは拡張シェルフ内の電源キャニスタを交換するには、帯電防止保護と交換用電源キャニスタを用意する必要があります。

**警告:** 電源が入った状態でこの手順を実行する場合は、機器のオーバーヒートを避けるため、15分以内に操作を完了させる必要があります。両方の電源キャニスタを同時にストレージシェルフから取り外さないでください。1つの電源キャニスタが常時作動している必要があります。

**注意:** 静電放電による損傷を防ぐため、コンポーネントを扱うときには、適切な帯電防止保護を行うようにしてください。

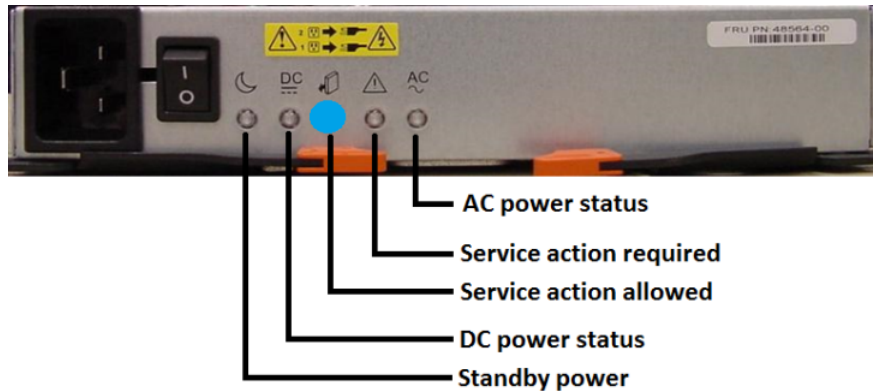
### 電源キャニスタの位置

両方のストレージシェルフ用の電源キャニスタは、どちらもシェルフの背面パネルに位置します。シェルフの上部と下部に1つずつキャニスタがあります。各キャニスタに、ストレージシェルフのシャーシからキャニスタを取り外すためのオレンジ色のレバーが2つ付いています。交換用電源キャニスタのレバーが新しいキャニスタを固定します。



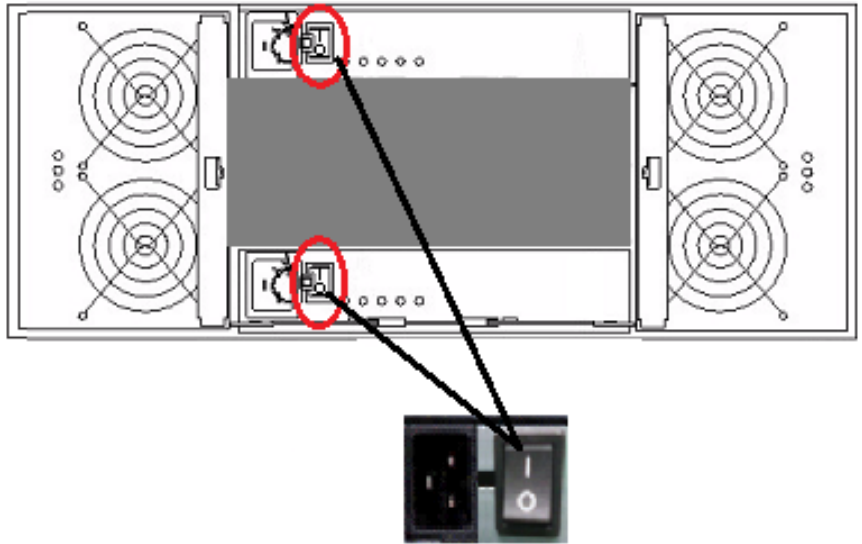
### 電源キャニスタを取り外すには

- 1 不良電源キャニスタのあるストレージシェルフを特定します。
- 2 影響を受けているキャニスタでサービスを開始する前に、そのコンポーネントがサービス処理可能モードになっていることを確認します。サービス処理可能LEDが青になっていることを確認します。各キャニスタにはこれらのLEDが1つ付いています。必ず、青のLEDが付いているキャニスタで作業するようにしてください。電源サービス処理必須LEDをチェックして、障害が発生している電源キャニスタを特定します。

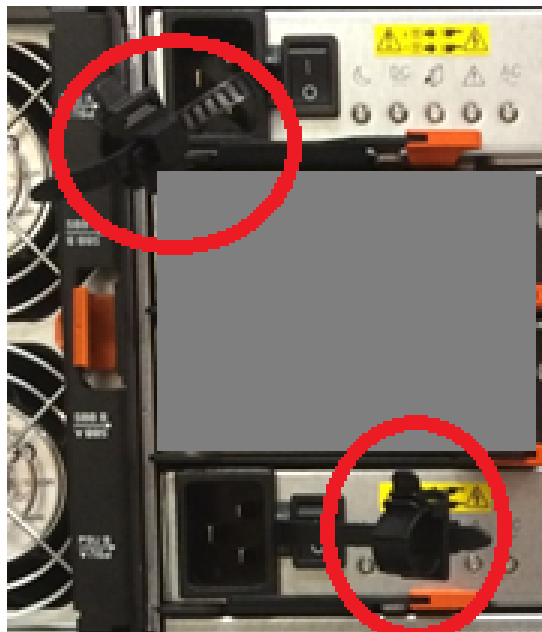


- 3 サービス処理可能LEDが青になっていない場合、アプライアンスのシェルメニューにアクセスしてください。Support > ServiceAllowedコマンドを使って、青のライトを点灯できます。ライトを点灯できない場合、ベリタスのサポートに問い合わせてください。

- 4 障害が発生している電源キャニスタの電源スイッチを切ります。



- 5 電源コードからプラスチック製ストレンリリースを外します。





- 6 障害が発生している電源キャニスタから電源コードのプラグを抜きます。
- 7 電源キャニスタの 2 つのレバーを回して、電源キャニスタを外します。
- 8 電源キャニスタのレバーをハンドルとして使って、電源キャニスタをストレージシェルフシャーシから取り出します。



電源キャニスタを取り外すとき、ファン速度が速くなる場合があります。電源キャニスタの交換が終了すると、ファン速度は通常の状態に戻ります。

#### 電源キャニスタを取り付けるには

- 1 新しい電源キャニスタを箱から出します。不良電源キャニスタを返品する必要がある場合は、すべての梱包材を取っておきます。
- 2 電源キャニスタのレバーを手前に引きます。
- 3 レバーをハンドルとして使って、ストレージシェルフのシャーシにキャニスタを挿入します。
- 4 シャーシの奥までキャニスタをスライドさせます。
- 5 キャニスタの中央に向けてレバーを回転させて、キャニスタをロックします。
- 6 交換用電源キャニスタの電源スイッチがオフになっていることを確認してください。
- 7 電源コードのプラグを差し込みます。
- 8 キャニスタのコンセントに電源コネクタがしっかりと入っていることを確認します。
- 9 電源コードにプラスチック製ストレンリリースを接続します。
- 10 電源コードのもう一方の端が 220VAC 電源に接続していることを確認します。
- 11 新しいキャニスタの電源スイッチを使って電源を入れます。
- 12 新しい電源キャニスタの緑色の入力 AC 電源 LED と橙色の電源サービス処理必須 LED を確認します。
- 13 入力 AC 電源 LED が点灯し、電源サービス処理必須 LED が消灯している場合、交換作業は完了しています。

- 14 入力 AC 電源 LED が消灯し、電源サービス処理必須 LED が点灯している場合、電源キャニスタが適切に取り付けられているか確認します。必要に応じて、電源キャニスタを取り付け直してください。
- 15 それでも LED が正常に動作しない場合は、ベリタスのサポートに問い合わせてください。